

2 長期目標

今年度の目標(長期目標)		指導の手だて
学習面	<ul style="list-style-type: none"> 文章の文意を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を区切ったり、注目すべき部分を示したりして、文意をとらえやすくする。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> 予定や手順等に対するこだわりを軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定を視覚的な情報等を用いてはっきり伝える。 事前に伝えて見通しをもって行動できるようにする。
社会性	<ul style="list-style-type: none"> 友達と望ましいコミュニケーションをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面や状況に応じた態度や言動を具体的に教える。

3 2学期の目標(短期目標)

学習面	<ul style="list-style-type: none"> 文章の要点を区切りごとに読み取る。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> 活動に見通しを持って参加するとともに予定の変更にうまく対応できる。
社会性	<ul style="list-style-type: none"> 友達に対する適切なコミュニケーションの仕方を身に付ける。

4 2学期の教科等の支援と成果(学期ごと)

教科等	目 標	指導の手だて	経過(評価)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 一定の区切りごとに、文章の要点を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 区切りごとに意味を確かめたり、キーワードに印を付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要な箇所を印象付けることにより、文章の要点を読み取ることができた。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 発言していい時とそうでない時を理解し、適切な場面で発言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言のルールを本人と決めておき、授業中に発言する機会を意図的に作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 決めたルールをカードにして机上に提示することで、勝手な発言がなくなった。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 班の中でのルールや自分の役割を知り、協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班の中での手順や役割を事前に決め、確認を適宜行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順や役割を表などの視覚情報として提示することで、活動に見通しが持て、友達とのトラブルがなくなった。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 自分に適した環境で楽器の練習等ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不快に思う状況においては、音楽準備室での練習を教師の許可を受けた上で行うことを認める。 	<ul style="list-style-type: none"> 不快な状況が予想される場合には、事前に教師の許可を得て、別室で過すことができた。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 集団のゲームに参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動き方の見本を示したり、ゲームの中での簡単な役割を与えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し経験したゲームであれば、参加できるようになった。
対人関係等	<ul style="list-style-type: none"> 活動の予定や内容が変更しても、安定して過すことができる。 その場の状況にあった行動や会話をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定変更の際には前もって伝え、言葉だけでなく、予定表などの視覚的な情報を交えて確認する。 相手がどのような気持ちでいるかを口調、表情などを実際に示して具体的に教える。 困ったり、不快に思った時には担任の所へ行くことを教える。 周囲の生徒に抽象的な言い方や表現をせず、直接的、具体的な表現をするように指導する。 なぜそう思ったのかをまず確認し、適切な言動のモデルを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール表を作成し、予定の変更は事前に視覚情報としても提示したことにより、パニックを起すことがほぼなくなった。 具体的な対応や会話の仕方を習ったことについては、適切な対応ができる場面が増えてきた。